

あんどーりすの防災四季だより

第26回 放送日：2019.9.27（金）

パーソナリティー：あんどーりす

テーマ：台風と水害



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどーりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

住む地域の特性を知って、
自分で決めておこう、避難のタイミング

災害の後始末は、あらゆる危険がいっぱい。
子どもは遠ざけよう。



今週も引き続き、
台風や、水害についてお話したいと思います。

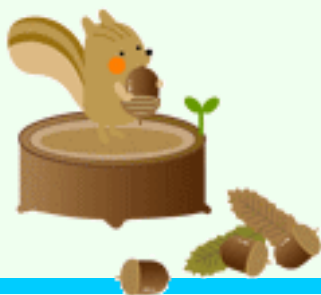


西日本豪雨(平成30年7月豪雨)の
被災地に行くことが多くあります。

その際に、体験談をお聞きしたり、
その後の報告集などをいただくことが多く
あります。

報告集の中に、やっぱり多く出てくるのは、

「早く逃げておけば良かった。」
という声なんですね。



心構えとのギャップ

例えば、

どうしようと思った時が避難する時

警報を信じて行動する事

早めの判断

早めの避難

命を守る行動を

地形や地域の事を知って、早めに逃げよう

早め、早めの行動をしよう

などなど。

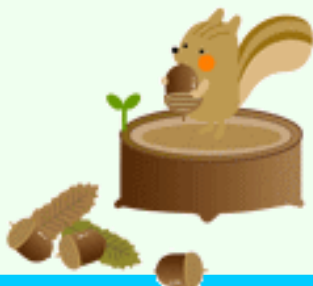
皆さんは良くご存知でいらっしゃるのですが、

当日は、

やっぱりなかなか動けなかった。

大丈夫だと思った。

という声も非常に多いんですね。



水害を体験して



例えばこちら
イクちゃん子ども応援プロジェクト活動報告
p.29(※) に書かれている
30~40代の母親の方のコメントです。

「豪雨が降り続く中、
それでも大丈夫だと思う自分がいた。」

やはり、最悪の事態を想定し、
行動する必要があると感じた。」



「初めて体験をして、
あの状態は危なかったのだと後から思った。」

すぐ近所に水害碑があることも、
後になってから知った。」

やはり地域の人が、新しく越してきた人に、
言い伝えていくことが大切だと思う。
これからは意識して行きたい。」

イクちゃん子ども応援プロジェクト:平成30年7月西日本豪雨で
被災した子育て家庭を、支えたいと立ち上げられたプロジェクト

「小さな子どもを連れて避難したが、

慣れない環境でぐずり、
周囲の目も気になり、

結局、夜中に自宅に帰った。

小さな子どもや、身体が利かない方
と一緒に避難する事は、
簡単ではないなあと感じた。」

という声があります。

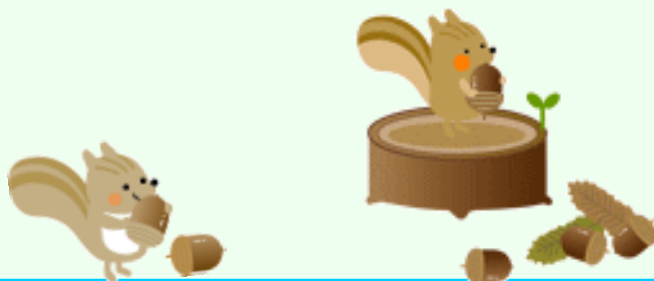


(※)イクちゃんこども応援プロジェクト活動報告

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/359301.pdf>

イクちゃんこども応援プロジェクトができた背景 広島県ホームページより

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/248/3007saigai-kodomo-ikuchan.html>



自分で決めておこう 避難のタイミング

それから、
40代父親さんからは、こんな意見も。

「避難指示等に迅速に従えば、
被害が少なくて済む。



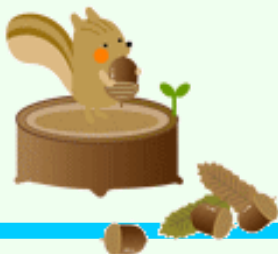
といった報道を良く目にする。が、

市内全域という、
大雑把な範囲に出された情報では

どこに避難して良いか、わからなかった。」

最近では、全域の避難、早めの避難と
言われていますね。

いつ避難しなければいけないか？





やっぱり自分自身で
自分の地域の事を知って、

避難のタイミングを
自分で決めておかないと、

いざという時に避難できないですよね。

あらかじめ、
みなさんも決めておいていただければと
思います。



水害の、あと片付けに臨んで

そして今週は、
その水害が治まってからの注意点を
お話ししたいと思います。



一段落つくと
みなさんお掃除とかね、始めると思います。

NPO法人 レスキューストックヤードが出して
いる、

水害後のボランティア作業マニュアル(※1)
というものがあります。

その服装を見てみると
ゴーグルはするわ、ヘルメットはするわ、
そして防塵マスク、
厚手で長めのゴム手袋とかね。



あくまでも
長袖、長ズボン、長靴っていう
格好なんですね。

(※1)NPO法人 レスキューストックヤード ホームページから
<http://rsy-nagoya.com/volunteer/image/suigai-manual.pdf>



おそろしい感染症

何故かというと、
厚生労働省や環境省では、



感染症が怖いですよと言っているからです。

国立感染症研究所
感染症疫学センターでは、

「平成30年7月豪雨に関する感染症関連情報」
(※2)を出しています。

例えば「破傷風」、「レジオネラ症」、

それから
「レプトスピラ症」などの感染症を挙げています。



(※2)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/2457-disaster/h30-7/idsc/8160-typhoon1807-20180710.html>

破傷風

これは、聞かれたことがあるかもしれません。

普段は空気が触れないところにいる破傷風菌ですが、



水害の後は、泥や瓦礫が混ざってかき回され、菌が表面に出てきます。

傷がある皮膚が、汚染された泥に晒されたり、

埋まっていた古釘が出ていて刺さったりなど。

そのようなことで感染が起こります。

地震の後にも、同じような理由で感染の危険があります。



破傷風ワクチンの接種を

「昔、破傷風の予防接種を受けた」という方もいらっしゃいます。

実は、
破傷風ワクチンの効果は10年です。(※3)

最後の接種から10年経つと
有効期間が切れています。

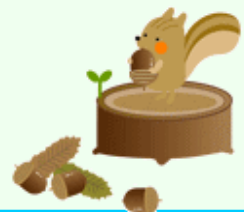
新しくボランティアに入る人は、
破傷風の予防接種を受けてから。と

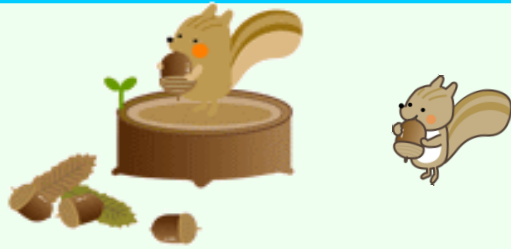
言われるくらい危険性が高いものです。



(※3)

<http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/hasyofu.pdf>





レジオネラ症

お風呂などで感染と言うのを聞かれたことがあると思います。

レジオネラ菌は、古い澱んだ水にあります。

レプトスピラ症

ネズミなど、げっ歯類の糞とか、
そのようなものが流れてきて感染する事が、
水害の時に起こりえます。

他に、
A型肝炎が報告されたり、

サルモネラ菌、赤痢菌、そういったものも出て
います。



化学物質の汚染

それだけではなく、
化学物質の災害時のリスクについても
言われています。



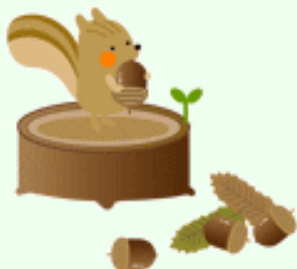
希釈されて実際には被害はなかったものの、

1998年に高知県で川の氾濫の際に
メッキ工場の青酸カリが流れたケースがありま
した。

2005年には、
長野県岡谷市の土石流現場で、

農薬の入った瓶が土砂に埋まり、
行政が立ち入りを禁止したケースもあります。

このように水害、災害の直後には、
様々な危険が出ています。





美談にしないで

水害の後に良くあるのが、

子ども達が学校で、お掃除をしました～＼(^o^)v

などという、
感動的な美談としての報道です。



その姿を見てみると、
体操服だったりすることが多いんですね。

学校の体操服って、季節がら半袖短パン。
ひざや腕が出ていたりするんです。

ボランティアさんでさえも、
危険に備えた、予防接種・服装・恰好をして
現地に入ります。

ですから、
子どもに、軽装で災害後の掃除をさせるというのは、
良く考えてほしいなと思います。

安易に美談にしないでください。



子どもたちへの防災

アメリカの小児科学会では、
子ども達に必要な防災準備として、

「洪水やハリケーンの影響を受けた地域の子どもの、帰還に関する臨床医の推奨事項」

というものを出版しています。(※4)

ここでは、

子ども達は大人に比べて、
・毒性への感受性が高い。



成人だったら避けようとする物質に、
・直接接触してしまう行動をとりがちである。

このようなことから、

小さな子どもはもちろん、
できれば10代のうちは
清掃活動に参加すべきではない。



という事が書かれています。

(※4) アメリカ小児科学会 子どもと災害のページURL (英文サイト)
コピー&ペーストしてご使用ください

<https://www.aap.org/en-us/advocacy-and-policy/aap-health-initiatives/Children-and-Disasters/Pages/Recommendations-Regarding-Return-of-Children-to-Areas-Impacted-by-Flooding.aspx>



清掃に参加すべきではない。と、
はっきり書かれていることが印象的です。

結論として、

清掃されていないエリアには、
子どもは近づくべきではない。

子ども達は、
地域の清掃が終わってから被災地に戻る、
最後のグループであるべきだ。と、

提言しています。



水害は危険がいっぱい

水害や災害の後には、
皆さん自身も、

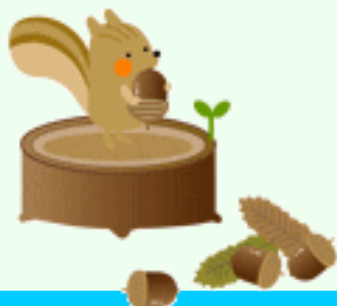


感染症対策をきちんと行う必要があります。

水害は、
水が引いた後も危険がいっぱいですから、

皆さんの大切な子ども達を守る為にも、
安易にお掃除・後片付けをさせない。

という事を
共通の認識にしていただければと思っています。



TEXT/はしも